Shizuoka Prefectural High School

Sagara

2024-2025

地域活動相高プロジェクト

SCH

Super **C**ommunity-based **H**igh School

１０年目のまとめ　《報告書》

目 次

□ 相良高校における「SCH 活動」の取り組み
1 SCH 活動の概要 ……1
2 取組状況
SCH 地域活動相高プロジェクト 令和６年度 活動実績一覧 …… 3
(1) 地域貢献活動 …… 5
(2) 地域人材の育成 …… 15
(3) 地域の魅力発信 …… 19
□ 新聞記事など …… 24

相良高校における「SCH」の取組

1　SCH 活動の概要

相良高校が地域から愛され続けるために、「地域活動・地域支援・地域研究」を柱として立ち上げた「SCH（Super Community-based High school）地域活動相高プロジェクト」は、今年度で 10 年目を終えました。「地域を愛し　地域から愛され続ける」のコンセプトが広く地域に浸透し、数多くのボランティア派遣依頼をいただきました。

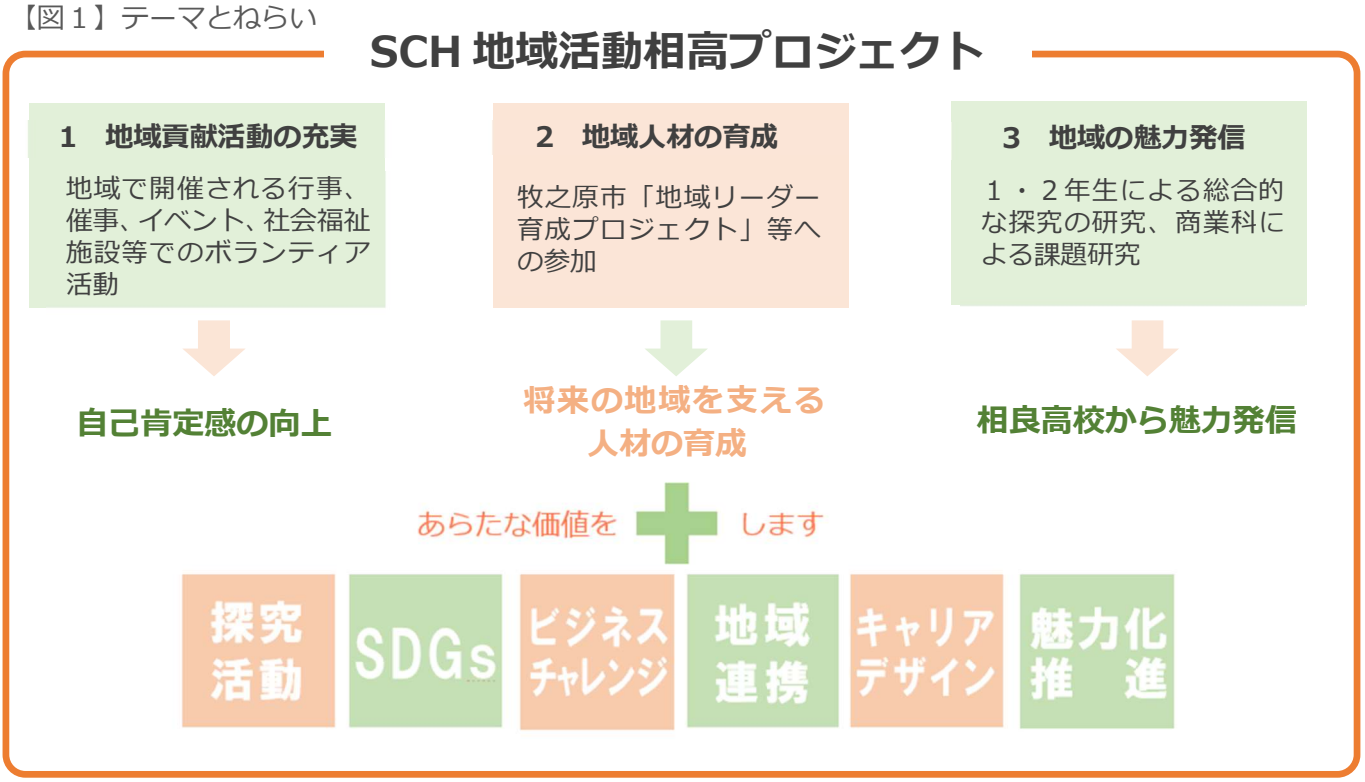
数年前のコロナ禍から従来の地域交流が活発化してきた現在、地域の期待を背負いながら、相校生の活動も充実期を迎えています。

（1）　活動のねらい

「SCH 地域活動相高プロジェクト」のねらいは、【図１】に示すように（1）地域行事、社会福祉施設等のボランティアを通した地域貢献活動の充実、（2）行政・民間企業と連携した地域人材の育成、（3）課題研究や探究などの取組を通した地域の魅力発信、の３つです。これらの活動を充実させることにより、①牧之原市を支える人材の育成、②本校生徒の課題の一つである自己肯定感の向上、③相良高校の魅力発信の３つを実現することにあります。

さらに、今年度からは、SCH＋（プラス）として、「探究活動」「SDG s」「キャリア」「ビジネス」などの要素を加えて活動に取組めるように、SCH 活動の改善を図りました。活動に参加した生徒は、「活動報告レポート」を C-Learning で作成し、探究活動や自身のキャリア形成にも生かせる体制づくりを進めました。

【図１】テーマとねらい



（2） SCH 活動の流れ

SCH 活動は、「高校生の活動参加を期待、希望する地域行事やボランティア活動について、学校が窓口となって積極的に生徒の参加をコーディネートし、多くの生徒の地域貢献活動への参加に繋げるもの」と言えます。実際、学校が受けた依頼は、C-Learning や生徒ホールの掲示板等を通して生徒に周知され、興味・関心のある生徒は参加申し込みをおこないます。SCH 担当職員が参加人数等を調整し、生徒に参加の可否を伝えます。参加が決定した生徒へは、注意伝達等の説明会を実施し、当日の参加へという流れです。（図２参照）

【図 2】活動に参加するまでの流れ

地域住民 自治体 各団体

・牧之原市や御前崎市などからの依頼をはじめ、各地区のイベントや企業による催し物、各種団体による企画など幅広く対応。
・営利目的ではなく、生徒の活動によって地域貢献や地域課題の発掘につながる内容であることを確認後、校長宛てに依頼文の送付。【依頼】

↓

学校 SCH 担当

・依頼者へは、活動の趣旨や意義など生徒の学びや気づきにつながるような活動を依頼。
・「活動日時」「活動趣旨」等を生徒へ周知【募集】

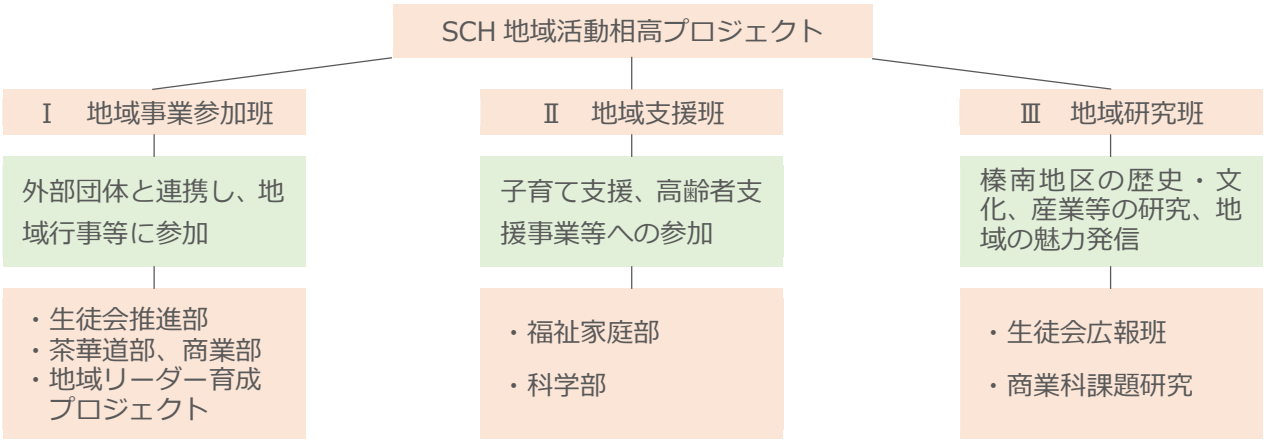
参加希望生徒

・SCH 募集の告知を見て、興味・関心、あるいは自分のキャリア希望にマッチする内容等であれば、参加を申し込む。【応募】
・活動後には、活動報告レポートを作成し、地域の課題や自身の問題意識をまとめる。【報告】

（3） 校内組織

SCH 活動を校内で推進、活性化するためには、全体への広報活動に加えて生徒側の組織を充実させる必要があります。依頼された地域貢献活動に対して必ずしも参加希望者が集まるわけではありません。希望が少なかった活動は、参加を辞めるのではなく次年度の依頼に繋ぐためにも可能な限り地域の期待に応える必要があります。そこで、生徒を参加させたい活動について、希望者が集まらなかった場合には、【図３】に示す（Ⅰ）地域事業参加班、（Ⅱ）地域支援班、（Ⅲ）地域研究班の３つの組織を活用し、参加者を募ります。希望者が不足する地域活動は、該当する班に参加協力を求め、部活動主導で参加してもらいます。現在、この校内組織とその役割が生徒・職員に浸透し、班に所属する部活動も役割を意識して自主的な活動を行うようになっています。

【図 3】校内組織図



令和６年度　SCH 地域活動相高プロジェクト活動実績一覧

	活動日	事業名	依頼団体	活動場所	生徒数	活動時間
1	4月6日（土） 4月7日（日）	桜まつり	菅山くらぶ	相良油田の里公園	14	２ｈ ４ｈ
2	4月28日（日）	さがら草競馬大会	まきのはら 活性化センター	さがらサンビーチ	39	７ｈ
3	5月2日（木）	さがら海岸清掃	相良高校	さがらサンビーチ	338	２ｈ
4	5月11日（土）	パラサーフィン体験会	牧之原市 スポーツ推進課	静波サーフスタジアム	4	８ｈ
5	5月19日（日）	地頭方ビタミンマルシェ	ビタミンマルシェ 実行委員会	地頭方港海浜公園	13	７ｈ
6	5月25日（土）	運動会支援ボランティア	吉田特別支援学校	吉田特別支援学校	14	６ｈ
7	5月25日（土） 5月26日（日）	パラサーフィンフェスタ2024	牧之原市 スポーツ推進課	静波サーフスタジアム	29	２ｈ
8	6月9日（日）	静波海岸清掃	榛南ライオンズクラブ	静波海岸	79	２ｈ
9	6月16日（日）	医療従事者サーフィン徳洲会カップ	医療法人 徳洲会	静波サーフスタジアム	31	６ｈ
10	6月22日（土） 6月23日（日）	スタブハイジャパン国際大会	牧之原市観光課	静波サーフスタジアム	11	６ｈ
11	6月23日（日）	地域リーダー育成プロジェクト①	牧之原市地域振興課	相良高校	17	２ｈ
12	7月6・13・27 8月10・23～25	ぼくらのまちのはら	まきのはら夢 キッズサポーター	牧之原総合センター い～ら	39	７ｈ
13	7月14日（日）	御前崎マリンスポーツフェスタ	牧之原市 スポーツ推進課	御前崎マリーナ	3	７ｈ
14	7月21日（日）	献血ボランティア	榛南ライオンズクラブ	ドン・キホーテ榛原店	12	３ｈ
15	8月5日（土） 8月6日（日）	大相撲藤枝場所	大相撲藤枝場所 実行委員会	静岡県武道館	4	６ｈ
16	8月15日（木）	さがら灯ろう流し	さがら灯ろう流しの会	相良湊橋	10	３ｈ
17	8月18日（日）	ファシリテーション研修	牧之原市地域振興課	牧之原市役所	6	５ｈ
18	8月21日（水）	地域リーダー育成プロジェクト②	牧之原市地域振興課	榛原高校	10	２ｈ
19	8月24日（土）	ちゅうでんサイエンスフォーラム	中部電力 浜岡原子力発電所	御前崎市民会館	12	２ｈ
20	9月14日（土）	勝間田星まつり	勝間田区星まつり 実行委員会	ゆうゆうらんど	6	５ｈ
21	9月15日（日）	飯津佐和乃神社御船神事	御船神事保存会	神社拝殿前から 市内各所	13	８ｈ
22	9月15日（日）	飯津佐和乃神社御渡り所役	飯津佐和乃神社 氏子総代		48	６ｈ
23	9月23日（月）	さがらサンビーチクリーン大作戦	相良高校2年探究	さがらサンビーチ	5	２ｈ
24	9月29日（日）	勝間田川カメ調査	牧之原市環境課	勝間田川	3	３ｈ
25	10月6日（日）	吉田公園クラフトフェア2024	クラフトフェア 実行委員会	吉田公園芝生広場	3	６ｈ
26	10月6日（日）	赤十字海岸清掃	日本赤十字社 静岡県支部	さがらサンビーチ	7	２ｈ
27	10月19日（土）	運動会ボランティア	つくしの家	B&G海洋センター 体育館	11	３ｈ
28	10月20日（日）	オクトーバーフェスト	マキノハラボ	カタショーラボ	39	５ｈ

	活動日	事業名	依頼団体	活動場所	生徒数	活動時間
29	10月23日（水）	地域リーダー育成プロジェクト③	牧之原市地域振興課	総合健康福祉センターさざんか	13	２ｈ
30	11月3日（日）	献血ボランティア	日本赤十字社 静岡県支部	小山城前広場	10	３ｈ
31	11月3日（日）	菅山ふるさと祭り	菅山区	菅山小学校	6	２ｈ
32	11月10日（日）	地頭方ビタミンマルシェ	ビタミンマルシェ 実行委員会	地頭方港海浜公園	8	７ｈ
33	11月16日（土）	地域リーダー育成プロジェクト④	牧之原市地域振興課	牧之原市役所	4	２ｈ
34	11月17日（日）	まきのはら産業フェア2024	産業フェア実行委員会	Gas Oneアリーナ	24	５ｈ
35	11月30日（土）	もえぎまつり	吉田特別支援学校	吉田特別支援学校	10	４ｈ
36	11月30日（土）	未来創造たまご塾	島田掛川信用金庫	SKしんきんプラザ	7	３ｈ
37	12月1日（日）	はじめてのの日本語教室 全10回	牧之原市秘書広報課	牧之原市役所	15	２ｈ
38	12月14日（土）	地頭方マルシェinまきのはら	牧之原区	牧之原コミュニティーセンター	2	３ｈ
39	12月24日（火）	高齢者支援ボランティア	（株）だんらん	だんらんの家	4	３ｈ
40	1月24日（金）	牧之原市議と語ろう	牧之原市議会事務局	相良高校	24	１ｈ
41	２月16日（日）	逃げるが勝ち	勝間田絆づくり　実行委員会	ゆうゆうらんど	2	４ｈ
42	２月22日（土） ２月23日（日）	御前崎JAPAN CUP	OMAEZAKI JAPAN CUP 実行委員会	御前崎ロングビーチ	14	８ｈ
43	３月９日（日）	まきのはら協奏曲	牧之原市お茶特産課	い～ら	8	８ｈ
44	３月16日（日）	献血ボランティア③	榛南ライオンズクラブ	カインズホーム 吉田店	6	3h
45	3月7～23日(日)	レモン苗植え隊	相良高校	レモン畑	33	3h
				参加生徒数	1010	

依頼イベント数 56 件 （不参加イベント 11 件）

地域活動件数と地域活動参加述べ生徒数の推移

10 年目	令和 6 年度	地域活動件数	44 件	参加述べ生徒数	1010 名
9 年目	令和 5 年度	地域活動件数	43 件	参加述べ生徒数	475 名
8 年目	令和 4 年度	地域活動件数	39 件	参加述べ生徒数	376 名
7 年目	令和 3 年度	地域活動件数	15 件	参加述べ生徒数	140 名
6 年目	令和 2 年度	地域活動件数	12 件	参加述べ生徒数	145 名
5 年目	令和元年度	地域活動件数	117 件	参加述べ生徒数	1941 名
4 年目	平成 30 年度	地域活動件数	113 件	参加述べ生徒数	1927 名
3 年目	平成 29 年度	地域活動件数	93 件	参加述べ生徒数	2126 名
2 年目	平成 28 年度	地域活動件数	76 件	参加述べ生徒数	2334 名
1 年目	平成 27 年度	地域活動件数	47 件	参加述べ生徒数	1119 名

10 年間の参加述べ生徒の数　11593 名

２　取組状況

【１　地域貢献活動】

①４月２８日　第４６回さがら草競馬大会




3318 高見広乃

　今回私が SCH 活動で学んだことは、「これからの地域の活性化に向けて行動できるのは、私たちしかいない」ということだ。今回は牧之原市役所観光課の方、ボランティアの方など多くの大人の力を借りて、草競馬を成功させることができた。しかし、世代が変わっていくことで少子高齢化に伴い、地域のイベントなどが満足に行えなくなる可能性がある。まだ子供である私たちだからこそ、牧之原市の良さをイベントを使って広めることができるはずだ。「これからの牧之原市を作るのはあなた達だ」と主催者の方が話してくださった。約 17 年間お世話になっている地元に恩返しをし、貢献することが重要であり、私たちが取り組んでいかなければならないことだと思った。

　まだまだ改善点はある。改善点を修正していき少しずつ完成に近づけていくことは、自分の進路とも重なる部分であると思うので、今回の SCH 活動で学んだことをこれからに活かしていきたい。

②５月 11・25・26 日　静波パラサーフィンフェスタ




3203 朝比奈和奏

　昨年に引き続き参加させていただきました。
国境を超えて多くの人と関わることができ、とても楽しかったです。私が一番感銘を受けたのは、大会に参加している全ての人が、障害の有無に関係なく平等に関わっていたことです。今まで、障害者への偏見をなくすための取り組みは行われてきていましたが、どこか上辺だけで一人一人の障害者への認識は変わっていないように感じることが多くありました。しかし、今回のイベントでは、障害者、健常者がみんなで心から同じスポーツを楽しみ、写真を撮り、一緒に食事を楽しんでおり、「一つのことを皆で楽しむことに、障害など関係ないのだ」と強く思うことができました。

　これからも様々な人と関わり新しい発見をして成長し続けていきたいです。ありがとうございました。

③５月１９日　地頭方海浜公園ビタミンマルシェ





2424 長倉三大

今回地頭方のみなさんと関わることで、「将来地方へ出てしまう子供たちが多いため、子供たちが楽しめるイベントを企画し、この地域の良さを理解してもらおうとしている」ということと、「やはり地域の高齢化が進んでしまっている」ということを感じました。「地域でイベントを行う事によって大人と子供が一緒に楽しめたり、同じ町内の人と関わることによりいろいろな情報が共有されたり仲が深まったりする。」「高齢者など普段外出することが少ない方などが交流することによりリラックスして楽しむことができる。」など、多くの効果があるイベントだと思いました。SCH 活動として参加しているので、何か自分にできることはないかということを考えて行動することを意識しましたが、ビタミンマルシェの実行委員の方などが、私たちにもおもてなしをしてくださり自分たちも楽しめるようなイベントにしてくださいました。その分自分達は片付けなど、やれることを一生懸命やりました。今回のイベントに参加して、地域の方と話したり、交流できたりしてとても楽しかったです。また参加します。

④５月２５日　吉田特別支援学校運動会



301 秋野希美

今回のお手伝いをして、学んだことは二つあります。一つ目は、頑張ることの素晴らしさです。競技の応援をして、生徒の皆さんが一人一人日々の頑張りの成果を発揮していてその姿がとてもかっこよかったです。目の動き、口の動きで一生懸命反応したり、毎日少しずつ立ち方や座り方を練習して確実に成長している姿を見させていただきました。私も沢山刺激をもらい、毎日を大切に過ごそうと思いました。

二つ目は、人と人との関わりが大切な経験になることです。普段は違う学校で過ごしていますが、こうして何か機会がある時に交流をすると新しい視点に気付けました。特別支援学校の生徒さんがどんな学習をしているのか聞かせていただいて、この知識とお話を聞けたことは私にとって良い経験になりました。また、先生方が障がいの有無に限らず、「些細なことでも、私たちは毎日とても成長している」と言ってくださいました。この言葉にもとても救われ、改めて少しずつでも成長できるように努力したいと考えることができました。

⑤６月９日　榛南ライオンズクラブ静波海岸清掃



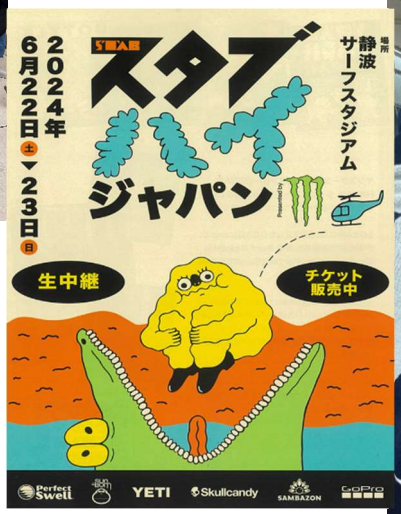


2107 小塚海翔

　様々なゴミが落ちていることが海の課題だと思った。SDGs の「海の豊かさを守ろう」を達成するためには、もっとゴミ拾いをして海を綺麗にしなければならない。また、ごみ拾いだけでなくポイ捨てなどを禁止する呼びかけをすることも行わなければいけない。牧之原には自慢の海があり、それを利用していろんなことができるはずだ。だから、我々市民全員が、海が汚れているこの環境に問題意識を持たなければならない。我々市民が問題意識を持ち始めれば、少しずつでも海の環境を改善していけると思う。まずは、自分が率先してゴミ拾いや呼び掛けを行っていきたいと思った。その行動が誰かの心を動かす原動力になればいいと思う。これからも海岸清掃をやりたい。

⑥６月 22・23 日　スタブハイジャパン国際大会







3221 福島日真理

　今回ボランティアに参加して茶娘をやり、多くの人と関わりを持つことができました。お茶を配りながら海外の方と話をする機会があり、初めての経験だったため最初は対応に困りましたが、明るく丁寧に対応することができたと思います。日本の文化を活かした茶娘という姿、お茶を配るという事をイベントに参加している皆さんに見せることができて良かったです。イベント内では国籍に関係なくその場にいる人皆が楽しそうで仲が良く見えました。私はこのようにグローバルな関わりを持つことがとても大切だと考えており、実際の関わりを見ることができ、今後のグローバルサークルやビジネスに活かしていきたいと考えました。わたしは茶華道部に所属しているため作法や礼儀についても多くの人と話をすることによって深められたと思います。

⑦７月１４日　御前崎マリンスポーツフェスタ





122 松井歩夢

　この地域ならではのマリンスポーツを多くの人が体験してくださり、この楽しさをもっと広く発信していくことが必要だと思った。今回参加したイベントでは、カヌー、サップ、水上バイクなどがあったが、やり方を理解できなかったり、うまく対応できなかったりする人が多く、マリンスポーツがまだあまり広まっていないことがわかった。海を活かして、もっと地域を活性化することができれば、御前崎市や牧之原市をもっと知ってもらえると思うので、今後もこのような活動にボランティアや一般客として参加していきたいと思う。また、自分自身が体験して、この楽しさを広めることもできると思う。

　海に関係している方やマリンスポーツが好きで参加している人が多かったが、新たに始めてみたり、体験してみたりする人を増やすためにはどうすればいいかも考えていきたい。

⑧７月２１日　献血活動ボランティア





2408 大石未来

　ティッシュを断られた時は心が折れましたが、時間が経つにつれて慣れていき、積極的に渡すことができるようになりました。献血のスタッフさんはとても優しくしてくださり、暑かったですが楽しく活動できました。募集の最初には５０人を目標としていましたが、午前と午後で７０人以上の人が献血してくださりとても助かったし、達成感を感じることもできました。

　休憩時間には献血のスタッフさんが優しく声をかけてくださったり、これまで関わったことがなかった先輩とも楽しく会話できたりしたのがすごく嬉しく、充実した時間になりました。将来働いて営業する時はこんな感じなんだろうなと妄想しながらボランティア活動ができたので、作業は大変でしたが、熱中症にもならず多くの人と会話ができ、よい勉強になりました。

⑨８月７日　夏巡業大相撲藤枝場所





1133 松下美優

　初めは、ボランティアとして働くことで「働くことの大変さを学べたら」と思っていましたが、観客の誘導や受付だけではなく、お弁当やお土産の包装などの作業もありとても大変な時間でした。しかし、このような活動にボランティアとしてサポートをしたことがなかったのでとてもいい経験になりました。

　今まで「地域に貢献」と言われてもあまりピンときていなかったのですが、このように地域との直接的な関わりを感じることができる機会を通して、「誰かの役に立っている」と感じることができました。学生のボランティアが多かったですが、自分より世代の上の方と交流できたのはとてもいい機会でした。自分は消極的なタイプなので人との交流が苦手なのですが、今回はたくさんの役割に関わり様々な人と交流することができました。

与えられた役割だけでなく自分からできることを探し、相談することが大切だということを学びました。

⑩７月１３日～８月２５日　全６回　KIDS TOWN ぼくらのまちのはら 2024





3203 朝比奈和奏

　最終日は今までの活動の集大成である KIDS TOWN オープンの日でした。小学１年生～中学３年生までの子供が遊びに来て、多くの保護者の方々も参加してくださいました。様々なトラブルなど、大変なことも多くありましたが、普段関わることのできない子供達や大人の方々と関わることができ、とても貴重な体験をして自分自身が成長することができたと思います。初めは、あまり話してくれなかった子供も最終日ではたくさん話しかけてくれとても嬉しかったです。また、小さな子供と話す時はしゃがんで目線を合わせる、話がまだ上手に出来ない子供にはゆっくり待ってあげるなど、小さな子供への対応も以前よりも上手にできるようになったと思います。

　普段の学校生活の中で、周りを見て行動していることを生かし、子供の小さな変化に気がついたり、先を見て行動することができたりなど、日々の生活の延長線となる行いをすることができたことも嬉しかったです。

⑪８月１５日　さがら灯ろう流し 最終開催





2425 名波 薫

今年で最後の灯ろう流しボランティアに参加し、亡くなった方達の慰霊のためのイベントが無くなってしまう事、伝統が絶たれてしまう事への寂しさを感じました。来年からはこういったイベントがなくなり、亡くなった方たちへ想いを寄せる機会も、人同士の繋がりも減っていってしまうと感じ、私たち若者がどうにか未来へ大切な伝統を受け継ぐことができればと思いました。いつか近いうちに私たちが灯ろう流しを復活させ、今までの賑わいを取り戻すことができたらと思いました。高齢者だけではどうしても続けていけないようなイベントであっても、地域貢献活動を志す若者を中心に多くの人達と協力して、この先もずっと開催できるような街づくりができたらと思います。
ボランティア中に高齢の方から話を伺い、昔からずっと灯ろう流しが行われていること、高齢者ばかりでとても続けていられるような状態では無いこと、昔の相良の町の賑わいと比べ今は寂れてしまっていることなど、とても大切なことを知りました。私たち若者がずっとこの街に留まり、相良の伝統を失わないように、後世に伝え続ける活動をしたいと思いました。

⑫９月１４日　勝間田星まつり



※参加希望者は、生徒ホールにある申し込み用紙に記入し、BOX の中に入れてください。

９月６日（金）締切

3302 飯塚亜矢乃

とても大規模な地区のお祭りでした。使われていない板を再利用してやぐらにしたり、大きな笹やたくさんの種類のお店が用意されていたりするところから、勝間田の地域の普段からの絆の深さなどを感じました。勝間田侍ソーランでは、小学５・６年生が踊っている姿を大人たちが懐かしく見届けながら一緒に踊り、その姿を小学校低学年の子供達が眺めている様子はまさに伝統が継承されていく瞬間のように感じました。

イギリスからの訪問者も参加しており、グローバル的発展も感じられました。通訳者を通してコミュニケーションをとったり、通訳不在でうまく伝わらない時は、ジェスチャーなどで工夫して交流を図ったりしていました。グローバルサークルでの経験を生かすこともできてよかったです。

⑬９月１５日　飯津佐和乃神社御祭禮　お渡り所役





1128 藤井拓海

　これまでの人生では何気なく参加していた祭典に深い意味が込められ、その歴史、文化を守り継承していくために多くの人が関わり協力しているということを知ることができた。誰も神の存在を認識等できたわけでもなく、ただの人間の想像でしかない文化がここまで根強く残る背景には何があったのか気になり面白かったと同時に、影も形もない者に縋り幸福を乞う、笑い呆けたい人間の心理には驚かされた。

　私の生きるこの時代に生まれたものも何百、何千年後には神格化されたりしているかも知れないと思うと今生きるこの時代、時間に意味がありすぎると思った。私も神格化されるほどではなくとも、人の心や思考に残る何かを成し遂げ私の人生が空虚なものではないよう日々努めていきたいと思った。

９月１５日　飯津佐和乃神社御祭禮　御船神事





3317 高畑圭司郎

　今回もこの飯津佐和乃神社の祭典に参加させていただきました。これで３年連続で参加することができ、この３年間を振り返るととても楽しい時間だったなと感じることができました。

私は大学進学を考えており、静岡県で活躍し、地域貢献ができる経営者になりたいと思っています。現在牧之原市でも少子高齢化が進んでいるため、地域活性化または地域貢献がとても重要な課題になっていると思います。そのため、この飯津佐和乃神社の祭典も守っていかなければならない大切な行事だと感じています。私は、牧之原市全体の小学生、中学生を全員参加させることが一つの対策になると思います。つまり、地域を挙げて学校行事にするのです。幼い頃から多くの経験をした方が人間性を豊かにすることに繋がりますし、楽しい祭典に参加することは参加する側にもメリットがあります。運営側にも大きなメリットがあるので、地域を活性化していく一つの方策だと考えます。

⑭１０月１９日　つくしの家運動会




1309 大塚裕衣

　今回のボランティアでは、自分よりも歳が小さい園児の対応をしましたが、自分が考えていたよりも難しく、病気を持っている子どもへの対応など、勉強になりました。
保護者や先生方など多くの方々がおり、「自分なりに動けるか」「何が手伝えるかを自ら聞けるか」と心配・不安がありましたが、先生方にやるべきことを丁寧に詳しく、優しく話していただいたり、保護者の方々や園児たちが楽しそうに運動会に参加できていて、自分も楽しく、面白くボランティアを行うことができました。

　今回のボランティア活動を活かして、今後のボランティアでは人と楽しく話すことと、自ら何ができるかを直接聞くということを中心に頑張っていきたいと思います。

⑮１０月２０日　オクトーバーフェスト





2409 加藤功之甫

　牧之原市のイベントは思っていた以上に賑やかで、たくさんのお店やお客さんたちが集まることを、今回のイベントを通して認知、学ぶことができた。自分なりの夢や目標をもった人たちがその夢を叶えるために、お店をやっていて、すごく人生を楽しんでいるなと感じた。

　片浜小学校には初めて来たけど、使われなくなった学校をこのように有効活用しており、物事の考え方というものは、数え切れないほどたくさんあるんだなと気付かされるいいきっかけになったと思っている。出店していた方と関わることができ、カルファルニアから来たと言う方と話をさせていただいた。改めて、いろんな考えや行動力を持った人たちがいることを学び、自分も将来、こんなふうに自分の考えをしっかりと持ち、自信をもって行動していきたいと思った。

⑯１１月３日　献血活動ボランティア２





3304 泉地巽稀

　私はこのボランティアに参加する少し前に献血の講座を受けました。そこで献血の重要性などを知ることができ、このボランティアに参加しようと思いました。実際にこのボランティアに参加し呼びかけをしていると、高齢者や中年者の方々の方が積極的に受け取ってくれ、若い方々は受けってくれることが少なかったため献血の重要さを若い方々により広める必要があるのではないかと感じました。実際に私もこの機会を利用し２回目の献血を行いましたが、そこまで痛くもなくこれで誰かの命を救う事ができるのならばやることをお勧めしたいです。このように高校生がボランティアに参加して、若い世代の方々に少しでも影響を与えられ輸血を必要としている人の助けとなれば幸いです。

⑰１１月１７日　まきのはら産業フェア 2024





3116 夏賀彩矢

　今回もダンスサークルとして参加させてもらいました。体育館の中はたくさんの牧之原の特産物があり、その中で活動できることで地域に貢献しているなと感じました。ダンスを踊っている最中には、ステージが壊れてしまったり、音が聞こえなくなったりなどハプニングはたくさんありましたが、そこも演出として見せるために笑顔で踊ったり、ステージから飛び出して踊りました。私達３年生にとっては最後のイベントだったのかなと思います。あっという間に３年間が過ぎていってとてもさみしい気持ちでいっぱいです。高校に入ってから新たなことにチャレンジして本当に良かったと思いました。ダンスサークルの活動をすることによってたくさんの発見がありました。

⑱ 9月 29 日～12 月１日　はじめての日本語教室　全１０回



地域住民に日本語学ぶ

牧之原で外国人向け教室

外国人が生活に必要な日本語を学ぶ牧之原市の講座「はじめての日本語教室」が29日、同市役所榛原庁舎で始まった。

初日は受講者のブラジル人ら約20人が、ボランティアの地域住民と対話をしながら、自己紹介で使えるフレーズについて教わった。趣味やよく訪れる飲食店などが話題に上がり、受講者は覚えた日本語をメモしながら会話を楽しんだ。

講座は12月までの全10回。ごみの捨て方などを学ぶ体験型の講座もある。

会話で日本語を学ぶ受講者ら＝牧之原市役所

1109 栗林美那子

私が住む御前崎市や牧之原市には多くの外国人の方が住んでいることを知りました。外国籍住民の中には日本語を話せない人が多くいることが地域の課題のひとつだと思います。そのなかで日本語を学びたいと思っている外国籍住民の人が多くいることを知り、今回の活動はとても役立つ活動になると思いました。日本語が分からないと言葉の壁や文化の違いがあり、日本で暮らしていくなかで困ることがたくさん出てくると思います。それを解決するためには外国籍住民と地域に住む日本人がお互いの文化を知り、コミュニケーションをとることが大切だと考えます。今回の活動では、どのようにして外国籍住民と関わっていけばいいのか具体的なことを学びました。例えば優しい日本語で話し、正しい日本語を身につけてもらうというより、交流することで日本語に馴染むことが大切だと学びました。活動に参加する中で外国籍住民の方が楽しそうに日本語で会話をしてくれたり、積極的に話をしてくれたりしていて、もっと多くの地域でこの活動をするべきだと感じました。もっとこのような活動の場を増やすことで、日本にいる外国籍住民の方が仕事をしたり、生活したりしていく中で困ることが減っていくだろうと思うし、その地域に住む日本人の負担も減り、地域全体がより良いものになっていくと考えます。

⑲　１月２４日　牧之原市議と語ろう





3307 沖舘彩菜

市議の皆さんの貴重な時間をいただき、対面で話すことができたことにより、今回の SCH 活動を行う前と後では、私自身の中で成長できたと感じられました。議員さんと実際にお会いして話すことで親近感がわき、優しく愉快な方がたくさんいることがわかり、議員さんのイメージが変わりました。
市議の方々とのグループワークは、当然今までの生徒同士でのグループワークとは異なり、意見する重さがありましたが、自分自身の発言がしっかりと生かされていく感覚を強く感じました。付箋を使って話し合いをしていく方法は今まであまり経験がなく、とても新鮮でした。とにかく沢山の意見、案を出したい時はこの方法はとても役立つと感じ、今後どこかの場面で使っていきたいと思います。

今回の活動を通して、牧之原市について知らなかった多くの情報を得ることができたので、これを機に、牧之原市について興味のあることを自分でも調べていきたいと思えました。

【２ 地域人材の育成】
地域リーダー育成プロジェクトへの参加

地域リーダー育成プロジェクトとは、牧之原市による「地域に誇りを持ち、将来地域を担う人材を育成する」ことを目的に平成 27 年度から実施している事業です。市内の高校生が、対話やファシリテーションを体験することを通して、牧之原市や自分自身の将来について考える機会となっています。

具体的には、牧之原市役所地域振興課が中心となり、牧之原市内高等学校（本校と榛原高校）と一般社団法人 CLIP が協力・連携し企画運営を行い、対話を通して地域の未来を考えていく事業である。

<1> ６月２３日　地域リーダー育成プロジェクト①　トークフォークダンス





3116 夏賀彩矢

私がこの活動に参加した理由は、小学校の頃に人見知りだったからです。挨拶もできないぐらいの極度の人見知りでした。その分親にも迷惑をかけ、このままでは人と関わっていけないと言われていました。しかし、高校に入ってから「もっと自分に自信を持とう」と思い、誰とでも関われるようになりました。「人と関わることって、こんなにも楽しいんだ」と相良高校のおかげで知ることが出来ました。今回のボランティアで私自身「成長することができた」と思っています。特に、対面で会話をしたのでとても緊張すると思っていましたが、相手の大人の方々がとても優しく、みんな笑顔で接してくれた事で、もっともっと人と関わりたいと思ったし、会話をするってとても楽しいんだなと思えました。

本当に私にとっていい経験になったと思います。ありがとうございました。

3325 藤本朱麒

自分と大人の距離が、思っている以上に近いことに気づきました。もうすぐ 18 歳になり成人を迎えます。そんな中、自分が思っているよりももっと早くに大人の仲間入りをすることになりそうでとても怖いです。今まで関わったことがないような大人の方々と話し合ったのですが、今まで考えつかなかったような考えや、価値観の共有ができてとても有意義な時間でした。いろいろなところで様々な人々が頑張っていることを教えてもらいました。人と話していると、今自分の立っている位置がよくわかり、努力に対してのモチベーションにつながっている様な気がします。人と人との関わりが人とのつながりを強めていると感じました。思いは強く永遠に流れ、言葉は永遠を生き、刹那に感じる。